

すべての人に「人生は楽しい」を

Vision

オンラインアシスタントで、日本の「働く」を変える

事業概要

オンラインアシスタントサービス

タスカル

T A S K A R

Fact Book

2024

タスカルの創業ストーリー

きっかけは、代表角前の次女の『先天性心疾患』。働き方と考え方を180度チェンジ。

オンラインアシスタントで、
日本の「働く」を変える



人を信頼して
仕事を任せるように

マインド
Change

スタッフの質・サービスの質向上

フルリモート化

コロナ禍

新規受注の伸び悩み
営業活動をストップ
人が入っては辞めるを繰り返す

人材育成体験がなかったため、
マイクロマネジメントに

タスカル
スタート

タスカルTシャツを着て
営業に駆け回る日々

自分じゃなくてもいい仕事は
オンラインアシスタントへ

働き方

Change

大阪（妻実家）へ転居

早朝出勤、深夜帰宅の
働き方何でも自分でやる

次女に先天性心疾患みつかると

東京で起業

この働き方を
世の中に広めたい！

株式会社Colors
代表取締役 角前 壽一

日本の「働く」を変えることで 2つの社会課題を解決する

企業が抱える 人手不足問題

欲しい人材が見つからない
地方、財源確保

女性の 就労課題

働きたいのに働けない
“仕事か子どもか”の選択

働き方の“あたりまえ”を変える

働き方の“あたりまえ”= オフィス出社型、正社員雇用、時間型雇用、小1の壁、キャリア断絶…

企業側の 課題

人手不足

「いい人がいない」
「採用に時間がかかる」
「育成する時間がない」
「固定費を増やせない」



タスカル
が
いずれも解消！

働き手側の 課題

働きたいのに働けない

「転勤帯同で仕事を辞めた」
「外に働きに出られない」
「不妊治療、介護と両立できない」
「子どもの預け先がない」

“仕事か子どもか”の選択

「どちらかを諦めなければ」



企業で働く人、タスカルで働く人、
すべての人に「人生は楽しい！」を。

利用しやすさの工夫

「必要な時にすぐ始められる」

マニュアル不要

口頭もしくはテキストでの指示のみで
業務を依頼できる。

「タスクをまるっと手放せる」

専任ディレクター制

経験豊富な専任ディレクターが伴走。
管理コストが不要。



「自社のやり方にあわせて柔軟に対応してもらえる」

ツールの一本化

使用する連絡ツールは自由に選択可。
コミュニケーションコストを最小化。



「スタートアップや中小企業にも優しい価格」

無駄のない料金体系

業務量に応じて時間を追加したり、
繰り越したりでき、無駄がない価格設計。

働きやすさの工夫

「転勤族でも仕事が続けられた」

フルリモート
マニュアル完備

場所にとらわれない働き方



「ブランクへの不安、キャリアの作り方」

未経験・チャレンジ歓迎の
企業風土

1on1の実施、アンケート常時受付、
入社後3カ月交流会など、気軽に相談できる環境整備

「子供の急な体調不良にも対応できる」
「ピンチの時はお互い様」

完全チーム制
相談しやすい環境

急な欠勤でも業務が止まらない仕組み
誰でも同じ情報を得ることができる仕組み

「不妊治療、介護と両立できた」
「ライフステージに合わせた働き方」

週1から
フルタイムまで！自由に選べる

勤務時間のルールを設けないことで、
自由度の高い働き方を実現



なぜタスクルが存在するのか：社会問題① 労働人口の減少

「人材が不足している」と

回答した中小企業は

約 **75%**



日本経済を支える中小企業の

人手不足解決は急務

物価高・人手不足…倒産が急増

中小企業に淘汰の波

上期4000件

全国の企業倒産件数

コロナ後、問われる実力

SUMCO 経産省 半導体

「人手不足」

中小企業に淘汰の波

物価高・人手不足…倒産が急増

全国の企業倒産件数

コロナ後、問われる実力

SUMCO 経産省 半導体

「人手不足」



小1の壁を感じた保護者は、**はい = 50.7%**



子どもの小学校入学に伴い、**仕事を諦めざるを得ない**ことが多い

働き方を見直した理由

- 学童に入れない
- 保育園に比べ、登校時間が遅く、学童保育の閉所時間が早い
- 長期休暇中の預け先がない
- 時短制度の利用が難しくなる

Before

罪悪感を抱えて働く日々

井川留美子さん

オンラインアシスタント



- ・ 40代／夫・小学生の子どもと3人暮らし
- ・ 中小企業での総務、営業事務に約20年間従事
- ・ 前職は、市役所の子育て支援課にて時短勤務
- ・ 子どもに障害があり、通学サポートが必要

オンラインアシスタントになる前の井川さんの気持ち

職場への罪悪感

障害をもつ子どものケアで発生する欠勤

子どもへの罪悪感

「本当は仕事をしたいのに」という気持ちを抱えたまま子どもに向き合っていることで、自己嫌悪に

やり残した仕事への罪悪感

子どものケアを優先することで、仕事をやり遂げられない任せてもらえない

オンラインアシスタントとして働くスタッフの紹介

After 時間と場所の制約から解放され、「仕事か子どもか」から「仕事も子どもも」へ

どれだけ職場に理解があっても、いつも罪悪感でいっぱい、20年のキャリアを一度手離しました。

タスカルでは**仕事か子どもか**選ばなくて良い。
どちらも諦めない働き方を自分で選べる
幸せを、とても実感しています。



「仕事も子どもも」両立できる喜び

子どもの隣で働ける喜び

いつでも子どもの様子をみながら働ける

「自分が働ける時間帯」で働ける喜び

勤務時間のルールがないため、ライフスタイルにあわせて働ける

スキルアップが叶う喜び

未経験だった経理業務に挑戦

1日のスケジュール例

5:30	起床、朝食準備
7:00	家事、メール確認
8:00	通学付き添い
9:00	買い物、夕食準備
10:00	業務開始
14:00	下校付き添い
15:00	宿題のフォロー 業務再開
17:00	夕飯
18:00	入浴など (合間に業務をすることも)
19:00	子どもの就寝準備
20:00	子ども就寝 業務再開
23:00	就寝

新潟家守舎さま

オンラインアシスタント導入企業



- ・新潟県所在のスタートアップ
- ・遊休不動産事業
- ・経理など専門スキルをもつ人材の採用に難航
- ・1人社長で、業務過多

Before

オンラインアシスタント導入前の新潟家守舎さま

地方特有の「人材不足」で採用難航

ハローワーク等で求人を出すも、専門スキルをもつ人材に出会えず

ノンコア業務に時間を割かれ、事業成長がストップ

経理、事務、営業、すべてがワンオペ。

コア業務に時間を割けず、事業づくりの足かせに。

After

ノンコア業務はプロ人材へまるっと依頼し、事業拡大に成功！



新潟県では、業務をアウトソーシングするという発想自体がまだ少ないです。採用する際は地元のハローワークなどを使うことが多いですが、なかなか見つからず延々と人を探している仲間もいます。タスカルを活用すれば、一発解決なのになと感じます。

人件費を「固定費」から「変動費」にチェンジ

【手が足りなければ採用】から【ノンコア業務を外注】のやり方に変更。

地元では出会えないプロ人材に、業務をまる投げ

最適なプロ人材とすぐに出会える。

まるっと任せられるから、管理コストもゼロ！

事業づくりに集中！新規事業も続々スタート！

本来やりたかった事業づくりに集中でき、事業拡大に成功！

オンラインアシスタントサービスは、こんなにも求められている！

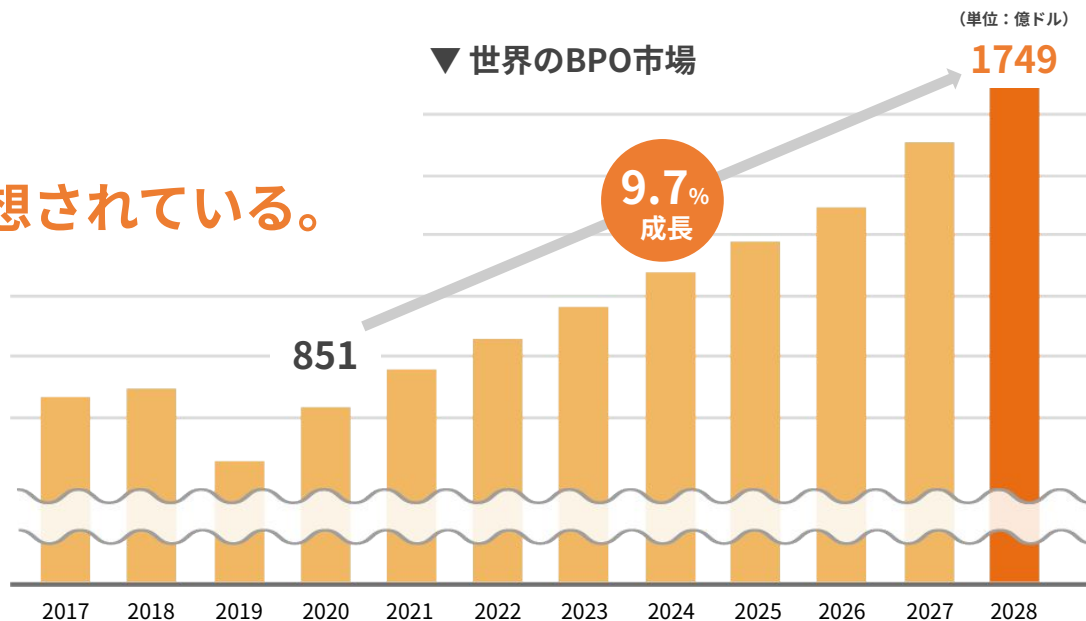
オンラインアシスタントの市場規模

2022年度における国内BPO市場規模は、**約4兆7,000億円**と推計。

※BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）：企業の業務プロセスの一部を外部の専門業者に委託する経営戦略

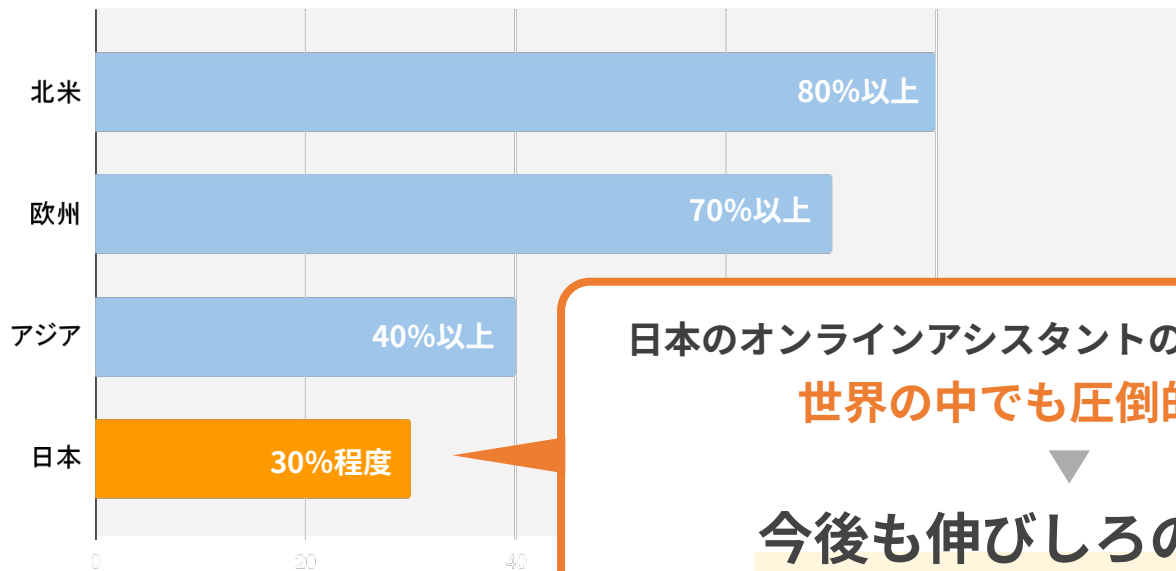
※矢野経済研究所調査による

BPO市場は今後も
世界規模で拡大が予想されている。



日本のオンラインアシスタント普及率は圧倒的に低さ

オンラインアシスタントの普及率



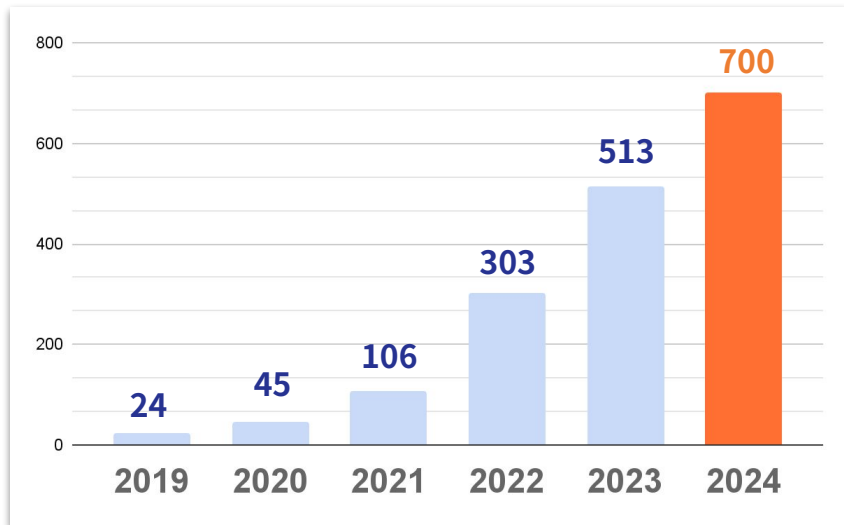
日本のオンラインアシスタントの普及率は**30%程度**
世界の中でも**圧倒的に低い**

今後伸びしろのある市場

出典：
VIRTUDESK "22 Virtual Assistant Industry Statistics and Trends for 2022"
woosite/VirtualAssistant Statics
Gozonji <https://www.realgate.co.jp/md/3817/>

タスクのこれまでとこれから

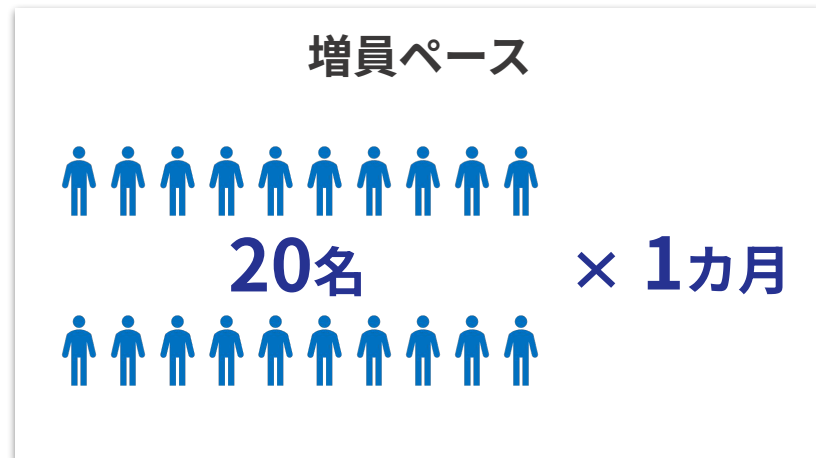
導入企業数



5年で約30倍の増加

企業の人手不足問題の解消に貢献

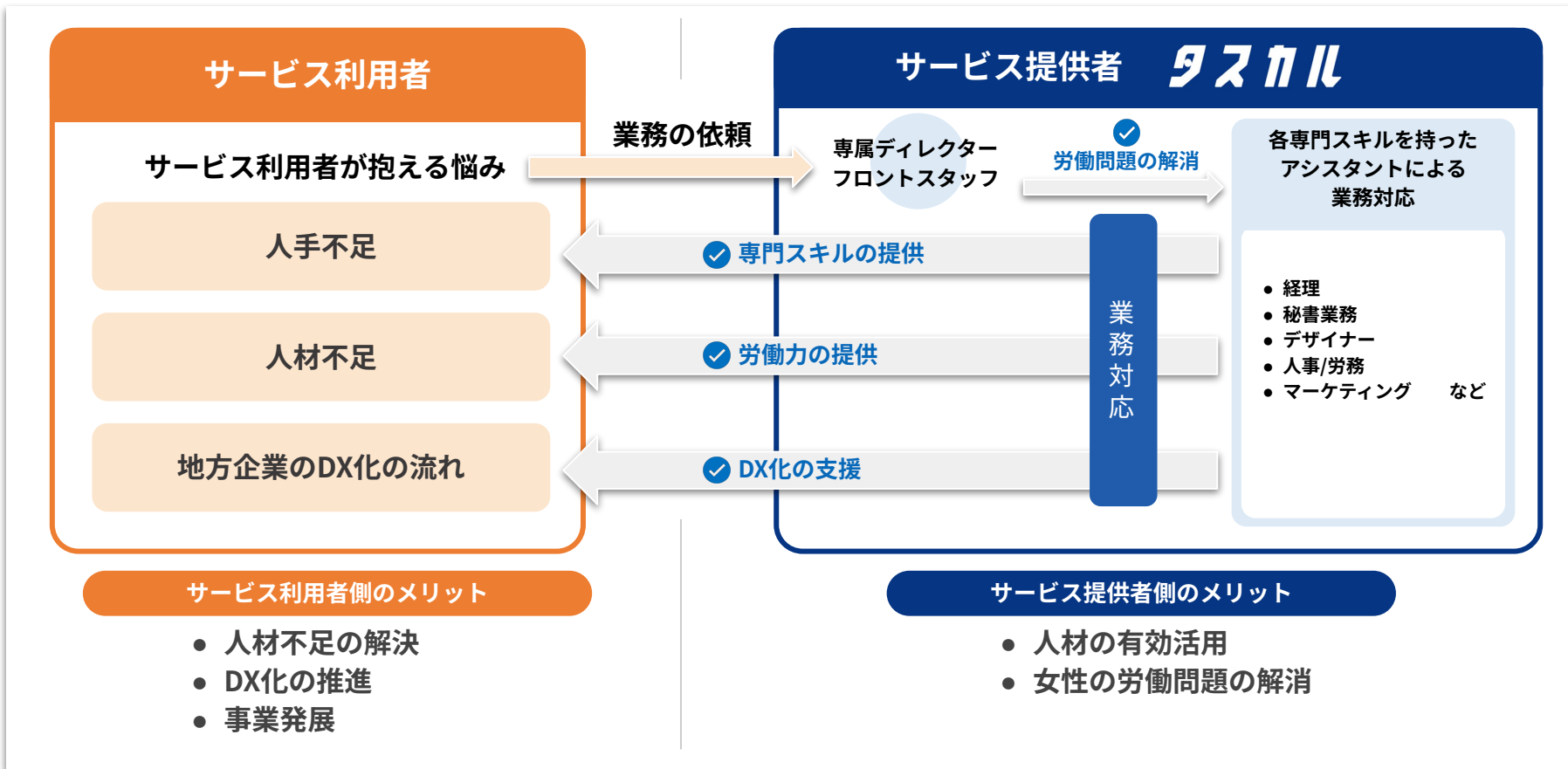
スタッフ数



月20名ペースで増加

育児期等の就労課題の解消に貢献

今、選ばれているオンラインアシスタントサービス「タスカル」とは



「ハイエンドなサービス×ローコスト」で中小企業に圧倒的優位



ムダのない料金体系

- ・ 10時間27,500円~
- ・ 割増なしで明確
- ・ 余った時間は繰越可能

コストの無駄をなくし、
繁忙期・閑散期にあわせた
業務依頼が可能



適材適所での業務分担

- ・ 約400名のスタッフを得意の業務にアサイン
- ・ 業務細分化により、効率と品質のバランスを最大化
- ・ チーム制で脱属人化



他にない柔軟性

- ・ 相談レベルから可能
- ・ マニュアル不要
- ・ 内製化や業務内容変更にも即対応可能
- ・ 複数の業務を並行して依頼することが可能

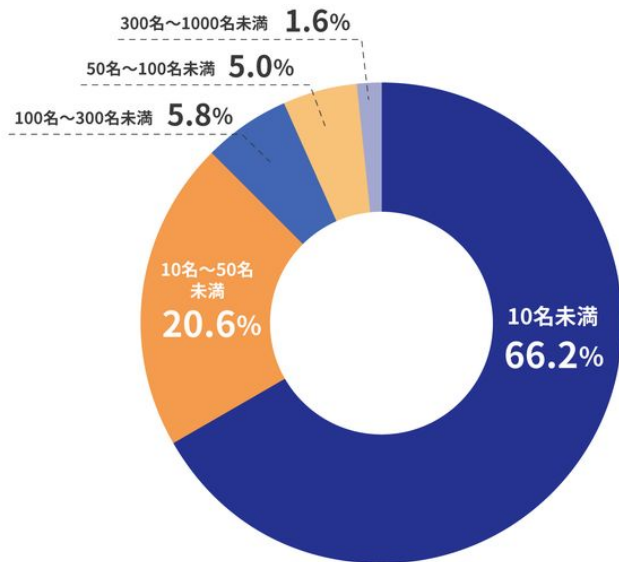
初期コストをおさえ、事業フェーズにあわせた対応が可能

スタートアップ企業、中小企業に最適のサービス体系

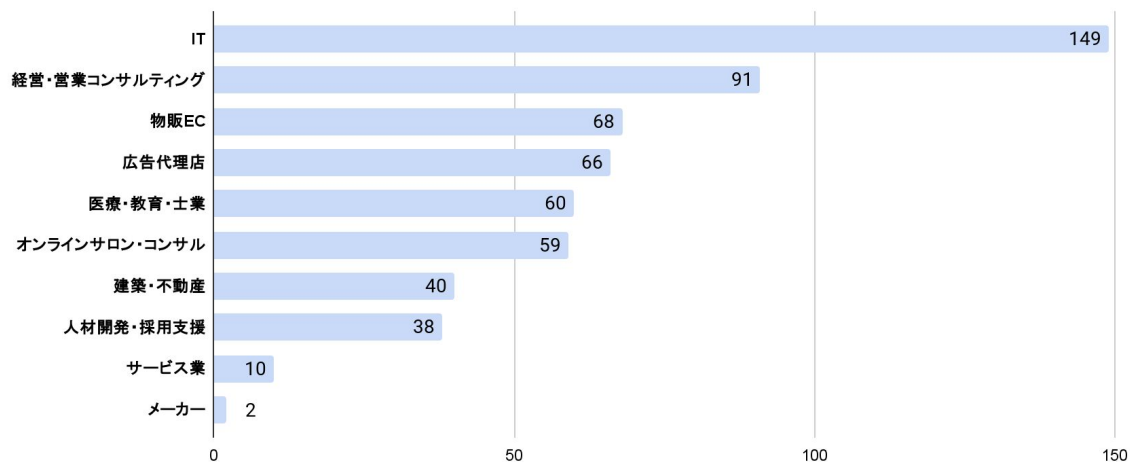
導入企業の約86%は、従業員50名未満

タスカルについて ~導入企業の内訳~

導入企業の従業員数



導入企業の業種



導入企業例

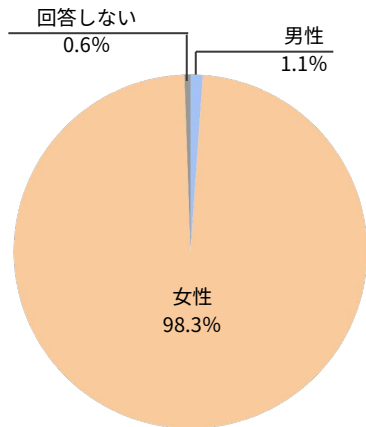
※掲載順不同



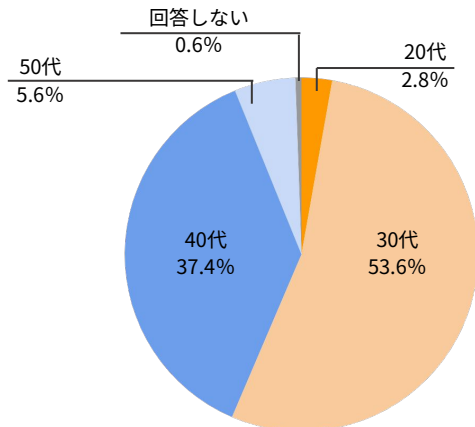
タスカルについて ～どんな人が働いているのか～

98%が女性、そのうち80%以上が育児中のママワーカー。
未就学児から小学生をもつスタッフが極めて多いのがわかる。

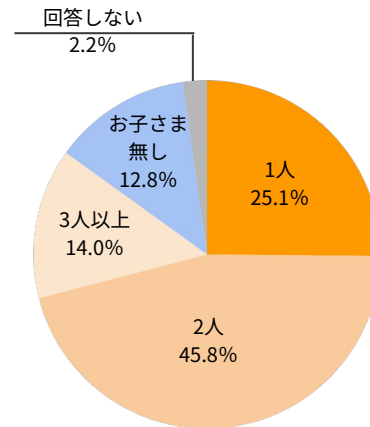
男女比



年齢層



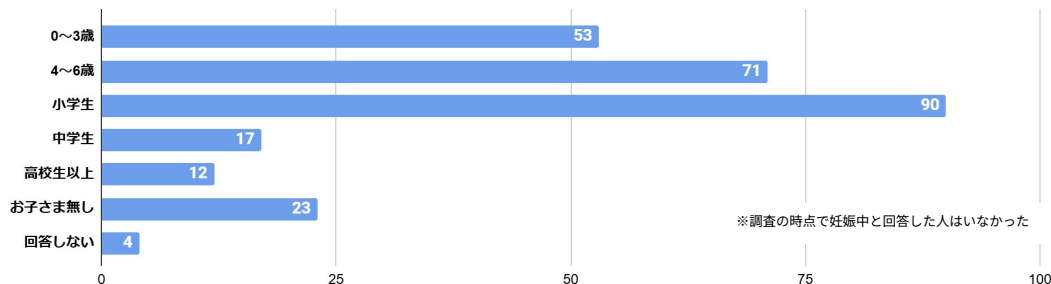
子どもの人数



子どもの年齢（複数回答）

- 1位：0～3歳
- 2位：4～6歳
- 3位：小学生

ひとりで留守番ができない、または留守番させることが心配な小学生以下の子どもを持つスタッフが圧倒的に多い。



※調査の時点で妊娠中と回答した人はいなかった

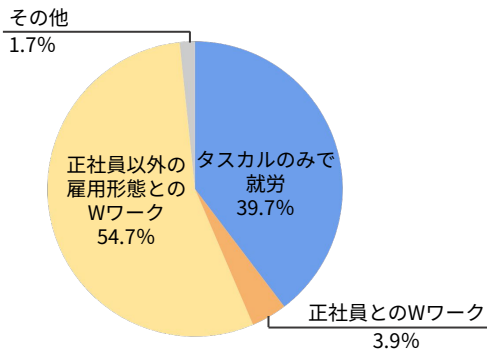
タスカルについて ~どんな人が働いているのか~

半数以上は副業として就業している。

経験社数2社以上の社会人スキルのある即戦力人材が約90%を占める。

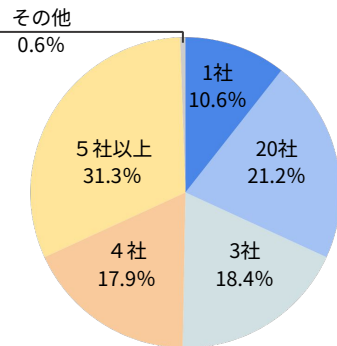
働き方

- ※正社員以外の雇用形態は、パート・アルバイト・業務委託、自営業、派遣契約社員
- ※その他：
 - ・フリーランス
 - ・これからWワーク予定
 - ・居住地の自治体で、中学生クラブの指導者(吹奏楽)



経験社数

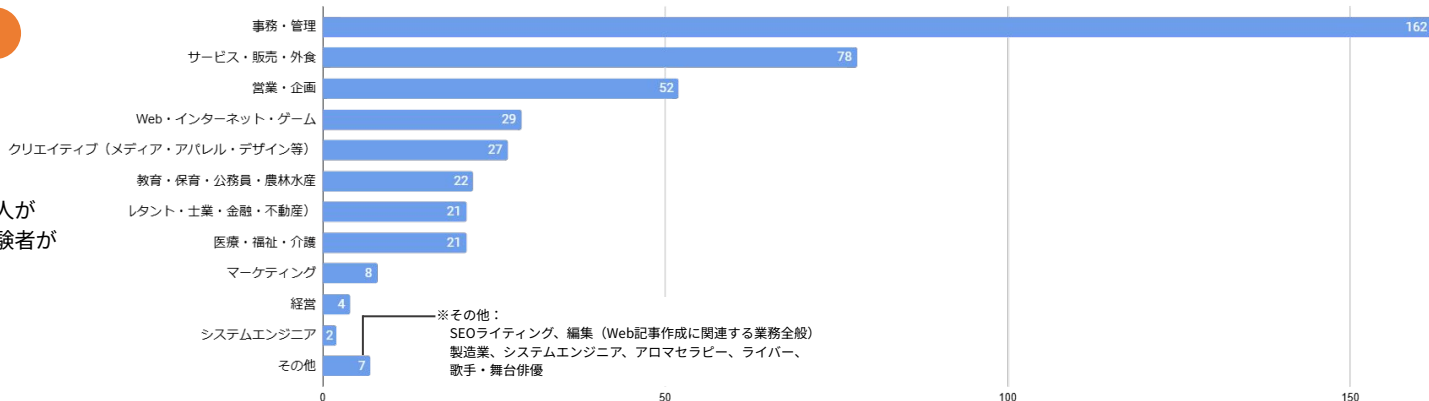
- ※経験社数0社（経験なし）と回答した人はいなかった
- ※その他：会社員としては2社、業務委託として複数



経験職種（複数回答）

- 1位：事務・管理
- 2位：サービス・販売・外食
- 3位：営業・企画

圧倒的に事務・管理職種経験をした人が多く、また広い分野における職種経験者が在席していることがわかる。



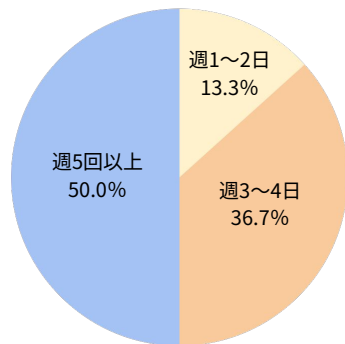
タスカルについて ~どんな人が働いているのか~

週1からフルタイムまで 幅広い働き方が実現

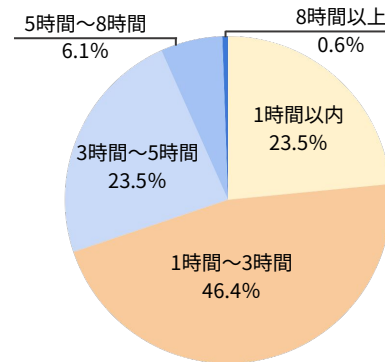
勤務時間にルールを設けないことで、
自由度の高い働き方が可能となった。

スタッフの急な欠勤があった場合でも
業務が止まらないよう、完全チーム制を
採用している。

タスカルでの1週間の稼働日数



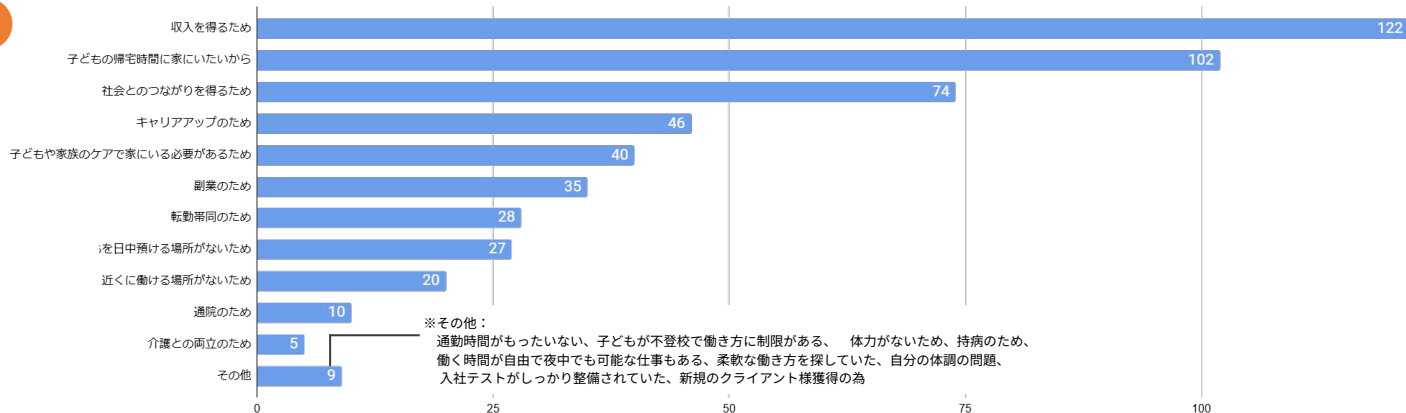
タスカルでの1日平均稼働時間



タスカル入社理由 (複数回答)

- 1位: 収入を得るため
- 2位: 子どもの帰宅時間に家にいたいから
- 3位: 社会とのつながりを得るため

家族との時間をもちつつも、収入を得たいという理由で入社した人が多いことがわかる。

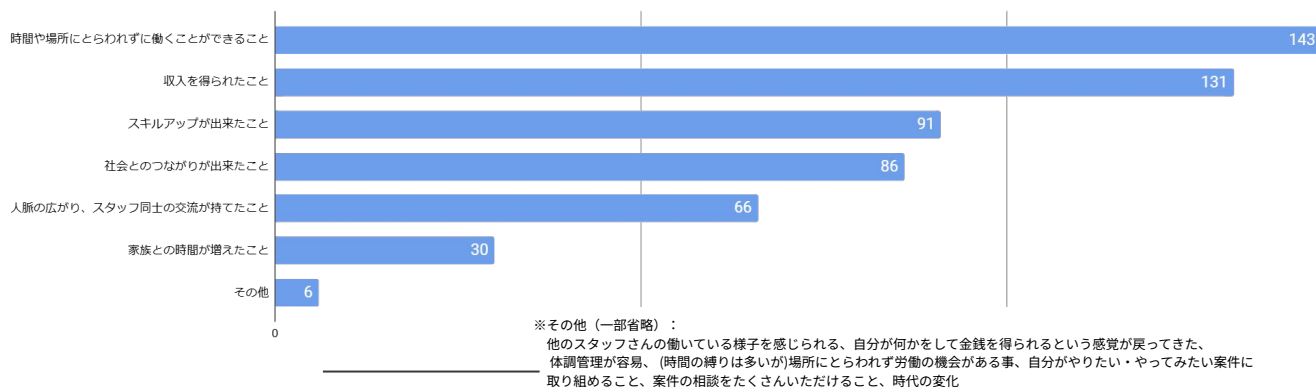


タスカルについて ~どんな人が働いているのか~

タスカル入社後の変化 (複数回答)

- 1位: 時間や場所にとらわれずに働くことができること
- 2位: 収入を得られたこと
- 3位: スキルアップができたこと

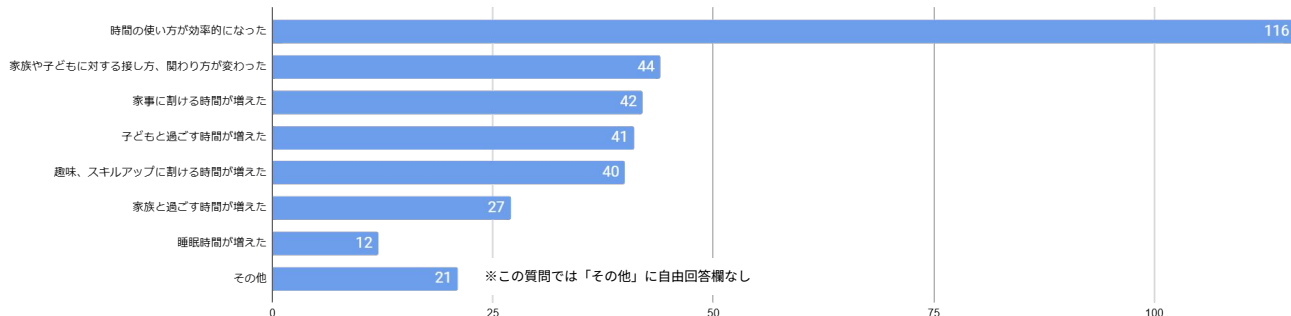
時間や場所にとらわれずに働き、収入を得られることに価値を感じる人が多い。
在宅であっても人や社会とつながりを得られることもチーム制ならではのタスカルで働く利点といえる。



時間の使い方の変化 (複数回答)

- 1位: 時間の使い方が効率的になった
- 2位: 家族や子どもに対する接し方、関わり方が変わった
- 3位: 家事に割ける時間が増えた

タスカル入社後、家族と過ごす時間、プライベート時間の使い方に変化に関しては圧倒的に「時間の使い方が効率的になった」と感じる人が多くみられた。



オンラインアシスタントサービス

タスカル

T A S K A R



<https://taskar.online/>